

学位研究 第17号 平成15年3月 (研究ノート・資料)

[大学評価・学位授与機構 研究紀要]

## 英国オープン・ユニバーシティにおける単位認定と評定サービス

### The Credit Transfer System and the Validation Service at the Open University

森 利枝

MORI Rie

*Research in Academic Degrees*, No. 17 (March, 2003) [the essay/material]

The Journal on Academic Degrees of National Institution for Academic Degrees and University Evaluation

1. はじめに	185
2. 単位移籍制度	185
2. 1 単位移籍の要件	185
2. 2 移籍できる学習	188
2. 3 単位移籍センターと移籍申請	189
3. 評定サービス	191
3. 1 評定サービスの概要	191
3. 2 認定のプロセスとレビュー	192
4. おわりに	193
資料	196
ABSTRACT	198

# 英国オープン・ユニバーシティにおける単位認定と評定サービス

森 利枝\*

## 1. はじめに

英国オープン・ユニバーシティは、規模の点からもまた国際展開の推進の点からも、世界有数の「開かれた大学」のひとつである。オープン・ユニバーシティは、わが国の放送大学が設置に当たって範型をとった機関であり、わが国では英国の「放送大学」と呼称されていたこともあるが、実際には通学制の部分をも併せ持つ、大規模な総合大学であるといえる。オープン・ユニバーシティでは、この「オープン」の意味するものとして、①人々に対してオープンであること、②場所に対してオープンであること、③学習方法に対してオープンであること、④信条に対してオープンであること、⑤時間に対してオープンであることを挙げている。

このような、高等教育の柔構造化の推進とでもいふべき使命を反映して、オープン・ユニバーシティでは、さまざまな高等教育機会を通じて遂行された学習を評価して、単位、ひいては学位などの資格に繋げるという仕組みを持っている。そのひとつが単位移籍 (credit transfer) の制度で、ここでは高等教育レベルの学習で得た単位を定められたスキームのもとで受け入れ、学位取得のための要件として加算するという仕組みが実施、推進されている。また、オープン・ユニバーシティには、単位累積加算 (Credit Accumulation and Transfer: CAT) の制度を維持推進する仕組みも備えられている。全英学位授与評議会 (Council for National Academic Awards: CNAА) が1992年の「継続・高等教育法」の定めにより1993年に解散することに伴って、それまでCNAАが果たしていた単位累積加算を支援する機能を引き継ぐべく、1992年から「オープン・ユニバーシティ評定サービス Open University Validation Service: OUVS」が設置された。現在、オープン・ユニバーシティではこのサービスを通じて単位累積加算制度が運営されている。このサービスの中で、オープン・ユニバーシティ以外の教育機関等の組織による教育の質を評価、担保することをも業務のひとつとされている。

オープン・ユニバーシティは、1969年に大学として勅許状を受けて以来、遠隔教育以外にも高等教育のアクセスの拡大を目的としたさまざまな事業を展開している。本稿ではそれら諸事業のうち、これら学外での学習と深い関連を持つ、高等教育の質と資格に関するサービスについて概説する。

## 2. 単位移籍制度

### 2. 1 単位移籍の要件

オープン・ユニバーシティは、登録した学生に学士 (BAおよびBSc)、修士その他の修了証

---

\* 大学評価・学位授与機構 学位審査研究部 助教授

や免状を授与する，単一の機関としてはイギリスで最大規模の総合大学であるということが出来る。1999-2000年度の学生数は，学士課程と大学院課程，イギリス国内国外をあわせて185,693人であり，同年度に，登録した学生に授与された学位および資格数は次の通りである<sup>1</sup>。

第一学位（BAおよびBSc，優等学位を含む）	12,950
上級学位（課程学位および研究学位）	2,941
学士レベルの修了証・免状	9,706
大学院レベルの修了証・免状	6,674

オープン・ユニバーシティでは，これらの学位等の資格を得るために必要な単位として，学習者の既得の単位を移籍することを認めている。この制度を通じて，学習者は下記に列挙したオープン・ユニバーシティが授与している学位と，認定している資格のうちの一部を得ることができる。

BA/BSc degree（専攻名称なし）  
 LL.B Degree  
 BA Honours History  
 BA Honours Literature  
 BA Honours Humanities  
 BA or BSc Honours European Studies  
 BSc (Hons) in Natural Sciences  
 BA (Hons) in Business Studies  
 BEng  
 Bachelor's Degrees in Named Subjects  
 Diploma in French  
 Diploma in German  
 Diploma in Health & Social Welfare  
 Diploma of Higher Education (Social Work)  
 MMath  
 MEng  
 Postgraduate Diploma in Computing for Commerce and Industry  
 Postgraduate Diploma in Manufacturing: Management and Technology  
 Joint Postgraduate Diploma in Computing and Manufacturing  
 Postgraduate Diploma/MSc in Environmental Decision Making  
 Postgraduate Diploma/MSc in Development Management  
 Postgraduate Certificate in Teaching and Learning in Higher Education  
 Advanced Diplomas in Education  
 MA in Education  
 MA in Humanities  
 MA in Open and Distance Education  
 MSc in Science  
 MBA

以上、30のスキームが用意されているが、ここでは第一学位に相当する学士の学位を取得するための単位移籍を中心に、その取得要件を見ていくことにしたい。

オープン・ユニバーシティでは、単位制度を基盤としたいいわゆるモジュール形式をとっている。オープン・ユニバーシティでBAないしBScを取得するためには360単位の履修が要件とされており、1科目は30単位ないし60単位に相当する。また、他のイギリスの大学の例に漏れず学士の学位には普通学位と優等学位の別があるが、オープン・ユニバーシティではBAおよびBScについては普通学位のみを授与し、優等学位はそれ以外の、専門分野名の付記された専攻学位 named degree に関して授与される。普通学位を取得するためにはレベル2以上の科目で240単位以上を修得することが求められているのに対して、優等学位はレベル2以上の科目で修得すべき240単位以上のうち、120単位以上がレベル3の科目であることが求められている。

また、この制度を用いて学位取得に必要なすべての単位を移籍できるというわけではない。まず、オープン・ユニバーシティからBAないしBScの普通学位を授与されるには、オープン・ユニバーシティで開設されているレベル2以上の科目で120単位以上を修得することが求められている。いっぽう優等学位の場合はレベル3の科目で120単位以上をオープン・ユニバーシティの科目を履修して修得しなければならないという要件が課されている。これらの要件については図1、図2にまとめて示した<sup>2</sup>。

図1 学士学位取得単位要件（普通学位）

レベル3	240単位以上 (うちOUの単位：120単位以上)	360単位以上
レベル2		
レベル1		

図2 学士学位取得要件（優等学位・専攻学位のみ）

レベル3	120単位以上 (うちOUの単位：120単位以上)	240単位以上	360単位以上
レベル2			
レベル1			

さらに、学習者が取得する学位がBAになるかBScになるかは、積み上げられた360単位以上の単位の内容のバランスに依拠することが定められている。またその判断のためには原則として180単位以上のオープン・ユニバーシティの科目を履修することとされている。

これらのBAおよびBScの取得要件は、専攻名のつかないオープン・デグリーの取得要件であるだけに比較的シンプルである。これに対して、たとえば単位移籍制度を利用した学士（エンジニアリング）の優等学位BEngは、必要単位360単位のうち外部から移籍できる単位については最大210単位と、専攻名称のないBSおよびBScよりも30単位少なく設定されている。またオープン・ユニバーシティで取得しなければならない150単位のうち、「T191：エンジニアリング

人材キャリア開発」の科目と「T397：専門エンジニアリング必修技術」についてはともに15単位ずつの修得が必須とされているほかに、レベル3の実験の科目から30単位を取得し、また工学、数学、科学のうち2科目を通学コースで修得しなければならないとされている。また、210単位以上がレベル2以上の工学、数学、科学の科目で得られた単位でなければならないが、さらにこれら210単位のうち90単位がレベル3以上の工学、数学、科学の科目で得られた単位であること、また60単位がレベル2以上の工学の単位であることなど、専攻分野の特性を反映したより細かい要件が定められている<sup>3</sup>。

この、単位移籍制度を利用してオープン・ユニバーシティに移籍できる単位については、あらかじめある程度の枠組みが定められている。オープン・ユニバーシティでは、次のような原則を掲げて単位の移籍を判断している。

- ・イギリスの高等教育のレベルに相当すること
- ・正式な評価（学外試験委員による評価等）がなされていること
- ・学術的であること

この原則にしたがって、単位移籍制度の運用に当たっては前述の学習のレベルに関する要件の他に、教授法（遠隔教育、対面教育など）や、単位取得の時期などの観点から、学習者の既得の単位が評価される。この、単位取得の時期に関しては、まず1971年以降の学習のみ単位移籍できるという全般的な定めが設けられている。また、単位認定の基になる個々の資格については、BAやBScに関しては、現在のところこの大枠の定め以外には単位の取得時期にかかわる規制は設けられていない。専攻学位については、法律に関する単位は移籍前6年以内に取得されたものであることとされており、また情報工学、MBAなどに関する単位は10年以内に取得されたものであることが求められている。なお、この単位の修得時期に関する規制については、高等教育水準保証機構（Quality Assurance Agency: QAA）から、専攻学位に関しては移籍できるすべての単位を10年以内に取得されたものとするよう、オープン・ユニバーシティに対して勧告されている。

## 2. 2 移籍できる学習

オープン・ユニバーシティの単位移籍制度を通じて学位等の資格を得るために移籍できる学習は、前項で示したような一定の水準を担保しうる枠組みのもとで遂行された学習であることが求められている。実際に移籍が認められている学習の種類は、おおむね以下に挙げるとおりである。

1. イギリス及びアイルランドの学位授与機関における第一学位課程の学習
2. 実務技術教育評議会（BTEC）ないしスコットランド資格協会（SQA）が発行した上級国家免状（HNC）ないし上級国家資格（HND）のための学習
3. アイルランド国立学位評議会による免状、修了証のための学習
4. イギリスとアイルランドにおける、教員養成課程修了証および教員免状取得のための学習
5. 准看護婦資格のための学習
6. イギリス職業資格（NVQ）とスコットランド職業資格（SVQ）のための学習（ともにレベル4-5）
7. イギリス会計士協会による認定試験のための学習

## 8. 陸・海・空軍学校における学習

## 9. 外国の教育機関における学習

これらのうち、1, 3, 9以外に挙げた学習は、すべて職業訓練、あるいは職業資格の獲得のための学習である。イギリスにおける職業資格と学術資格の融合・架橋の試みが、このオープン・ユニバーシティの単位移籍制度にも見て取れるといえよう<sup>4</sup>。

なお、1に挙げたイギリス及びアイルランドの学位授与機関における第一学位課程、すなわち高等教育において得られる最初の学位のための課程における学習のうち、イギリスの大学での学習で得られた単位については、BAおよびBScの学位授与をめざした単位移籍を行う際には、表1の対応表に示したような取り扱いがなされている。

表1：OU一他大学の単位レベル対応

オープン・ユニバーシティ	スコットランド以外の大学	スコットランドの大学
レベル1	CATs レベル1	SCOTCATs レベルSD1
レベル2	CATs レベル2	SCOTCATs レベルSD2・3
レベル3・レベル4	CATs レベル3	SCOTCATs レベルSD4

さらに、大学院課程における学習は、90単位を上限として移籍することが認められている。また、上記9に示した外国の教育機関における学習に関しては、単位移籍制度を管轄している単位移籍センター（のちに詳述）は、全国学術資格認証情報センター（National Academic Recognition Information Centre: NARIC）と協同してその評価を行い、おのおのの学習がオープン・ユニバーシティのどのレベルの学習に相当するかを判断している。

### 2. 3 単位移籍センターと移籍申請

上記に述べたオープン・ユニバーシティの単位移籍制度を運用して、学習者が他の学習機会を通じて得た単位をオープン・ユニバーシティでの資格取得のために換算するための組織として、単位互換センター（Credit Transfer Centre）が設けられている。単位互換センターは、学生及び教員に対し、単位移動に関する情報を提供することに加え、単位移動のための枠組みを運用することを使命としている。オープン・ユニバーシティにおいてこのセンターが一括して請け負っている、学外での学習の単位の認定は、原則としてオープン・ユニバーシティで学位ないしそれ以外の資格を取得するという目的の下に行われているものである。ただし、技術的にはオープン・ユニバーシティでの資格取得を目的としない、学習経験の単位化だけを目的とした利用も不可能ではない。そのことから推察されるように、この単位の移籍はすべて無料で提供されるサービスである。かつて科目数に応じて料金を徴収していた時期もあったが、高等教育への接近の機会を阻害する要素として、現在ではその課金制度は廃止されている。

学習者からの単位移籍の申請は、このセンターに対してなされる。申請は常時受け付けられており、移籍の可否等、結果が学習者に伝達されるまでには、特に問題がない場合には約4週間を要する。学習者は申請に際して、以下のような学習の事実を証明する書類を提出することが求められる。なお、稿末にこの申請のための書式を掲げた。【資料】

- ・過去に行った学習が完遂されていることの証明書（免状など）

- ・履修したモジュールないしユニットの成績証明書
- ・学習内容と学習時期を示すシラバス等の書類（学位を授与する機関での学習・BTEC・SCOTEC等）
- ・技能証明書（BTEC）
- ・教育訓練記録（SCOTEC）
- ・成績証明書およびシラバス（外国の機関での学習の場合）

この、単位移籍申請の結果を基に、学習者はオープン・ユニバーシティでの学位等の資格取得のためにはさらにどのような科目を何単位分オープン・ユニバーシティで履修すればよいか判断できる仕組みになっている。前述のようにこの制度は常時申請を受け付けており、年間約10,000件の申請があらたになされている。この申請に対応するため、単位移籍センターには2002年の時点で、各資格に対する申請を4つのグループで分担するという態勢のもと、21の専従のポストが用意されている（うち1が空席）。表2、3には、この単位移籍制度によって授与された学位をはじめとする各資格について、それぞれ申請数と授与数を示した。これらの2表からは、専攻名称のないBAおよびBScの学位の授与がこの制度において授与される資格の大半を占めることのほかに、それまでの専門職指向の強い資格の構成に加えて2000年度から整備が始まった教養系の優等学位が、急速に需要を拡大していることが見て取れる。

表2 1997年－2001年の単位移籍申請数

資 格	年 度				
	1997	1998	1999	2000	2001
BA/BSc	4,111	7,485	8,995	6,706	8,357
Advanced Diplomas in Education	200	153	107	83	54
MA in Education	95	105	106	110	148
Professional Certificate/Diploma in Management	160	174	547	284	91
MBA	165	177	185	179	174
MBA (Technology Management)	13	13	21	24	18
Postgraduate Diplomas in CCI/MMT	62	58	39	39	34
Diploma in Health and Social Welfare	39	39	45	39	54
Diploma in French	16	24	24	9	9
Diploma in German	9	7	4	9	10
MMath	16	34	25	26	49
MA in Humanities	6	2	7	6	14
MSc Science	-	0	7	16	10
MEng	-	50	119	154	298
Diploma/MSc Environmental Decision Making	-	1	2	4	6
Diploma/MSc Development Management	-	3	6	6	8
DipHE (Social Work)	-	-	3	11	10
MA in Open and Distance Education	-	-	2	7	3
Postgrad Certificate in Teaching & Learning in HE	-	-	0	0	0
LL.B	-	-	-	53	522
BA (Honours) in Business Studies	-	-	-	9	297
BSc (Honours) in Natural Sciences	-	-	-	13	308
BA (Honours) History	-	-	-	-	38
BA (Honours) Literature	-	-	-	-	143
BA (Honours) Humanities	-	-	-	-	608



表3 1997年—2001年の移籍による単位授与数

資格	年度				
	1997	1998	1999	2000	2001
BA/BSc	4,842	6,898	8,290	8,367	8,011
Advanced Diplomas in Education	193	148	96	81	42
MA in Education	118	87	99	69	128
Professional Certificate/Diploma in Management	155	188	478	80	79
MBA	149	183	144	131	153
MBA (Technology Management)	14	12	10	15	13
Postgraduate Diplomas in CCI/MMT	61	55	27	22	26
Diploma in Health and Social Welfare	43	34	19	24	49
Diploma in French	18	18	22	5	5
Diploma in German	6	12	3	5	4
MMath	13	16	13	22	45
MA in Humanities	7	1	5	3	9
MSc Science	-	0	4	10	6
MEng	-	18	86	171	289
Diploma/MSc Environmental Decision Making	-	1	1	0	3
Diploma/MSc Development Management	-	1	3	5	6
DipHE (Social Work)	-	-	0	8	6
MA in Open and Distance Education	-	-	0	4	1
Postgrad Certificate in Teaching & Learning in HE	-	-	0	0	0
LL.B	-	-	-	35	493
BA (Honours) in Business Studies	-	-	-	1	279
BSc (Honours) in Natural Sciences	-	-	-	4	325
BA (Honours) History	-	-	-	-	69
BA (Honours) Literature	-	-	-	-	162
BA (Honours) Humanities	-	-	-	-	437

### 3. 評定サービス

#### 3.1 評定サービスの概要

冒頭に述べたように、オープン・ユニバーシティでは、従来CNAАが担っていた単位累積計算の仕組みを引き継いでいる<sup>5</sup>。この機能を果たしているのがオープン・ユニバーシティ評定サービス (OUVS) である。OUVSは、「オープン・ユニバーシティの学生が、オープン・ユニバーシティから直接資格を取得することに匹敵しながらも、それとは異なる系列で」<sup>6</sup>、「高等教育の全領域において、国内的、国際的な評定を行う」サービスであり、「オープン・ユニバーシティと認定関係 accreditation relationshipにある機関において、学位や資格を授与することができる」というものである<sup>7</sup>。この制度を通じて取得される資格として、次のようなものが挙げられている。

- ・ 高等教育レベルの免状・修了証
- ・ 第一学位
- ・ 専門職ディプロマ
- ・ 大学院課程の免状・修了証
- ・ 修士の学位 (課程学位)
- ・ 研究学位
- ・ 博士の学位

これらが、現在OUVSが授与するものとしてリストしている資格である。またこの課程認定とは別に、OUVS単位換算のサービスも行っている。つまり、課程認定が、資格に至る学習全体をターゲットにしているのに対して、単位換算のサービスはそれよりも小さい、個別の学習の要素を評価して、その学習を通じて単位が得られるようにするというものである。

なお、課程認定による資格の授与については、上記に列挙したものの他に今後新たな資格が追加される可能性もあるとされている。新たな資格の認可に関しては、評定評議員会の勧告に基づき、大学が判断することになっている。その判断の基準は次のようなものである<sup>8</sup>。

- ・認定を勧告されている課程が、その性質と水準においてすでに認定されている資格とは異なりかつ関連もあること
- ・認定を勧告されている課程が、すでに認定されている資格と異質なものでないこと
- ・認定を勧告されている課程に、機関、学生、雇用者から認知され、需要が見込まれること

ここに見られるようにOUVSは、学外の課程を認定し、学位をはじめとする資格を授与する権限を有している。この権限は、OUVSの学長(vice-chancellor)を議長とする評定評議員会(Validation Board)を通じて行使される。この評議員会と評議員会の分科会は、オープン・ユニバーシティの教職員の他に他大学の代表、商工業者、公務員、認定を受けた機関の代表などから構成されている。

### 3. 2 認定のプロセスとレビュー

ある機関が、OUVSを通じて学生が学位などのオープン・ユニバーシティの資格を取得できるようにするには、まずオープン・ユニバーシティの認定を受けなければならない。この認定のプロセスは、ピア・レビューの原則にのっとりおこなわれる。認定を行うピアは複数の構成員からなるグループの形態をとり、次のような観点から選任される。

- ・高等教育に関する知見を有する者と、工業、商業、専門職、公務などに関する知見を有する者を含むこと
- ・認定を受けようとしている組織の外部、他の組織の者から成ること
- ・高等教育の質の保証と評価、レビューに経験を有する者を含むこと
- ・イギリスの他の高等教育の規準と実践内容に照らして公明正大な判断ができるグループであること
- ・課程認定と単位換算に関しては、当該分野の研究と、高等教育における教育、学習、成績評価に知悉した者を含むこと
- ・機会均等の原則を充分考慮すること

OUVSの認定を受けようとする機関は、このピア・レビューにおいて、以下の観点からオープン・ユニバーシティの資格授与に相応しい学習機会の提供者であるか否かを判断される<sup>9</sup>。

- ・適切な学習環境があること
- ・組織の所有権と学問の自治が分かたれていること
- ・学問のための組織が構成維持されていること
- ・質の保証のシステムが備えられていること
- ・教育スタッフに機関運営の責任の多くがゆだねられていること
- ・外部の学界との交流があること

このような条件を満たして認定を受けた課程と、オープン・ユニバーシティとの間では認定契約が同意される。認定当初の契約内容は次に示すように、認定された側の機関の責任が重く設定されている。

- ・評価とレビューを受けること
- ・単位換算を受けること
- ・学外試験委員を任命すること
- ・品質保証の記録を保存すること
- ・OUVSに情報を提供すること

これらの項目はすべて認定を受けた機関の責任である。それに対してOUVSの側では認定を与えた課程に対して、

- ・サービスを提供すること

のみが定められている。ただし、認定から年数が経てば、認定された機関に対してOUVSとの交渉に基づいて、責任を負うべき項目のうちの数項目に関する権限を委譲されることもありうるということが定められている<sup>10</sup>。

この、認定に関する契約の中で最も重要な要素であるといえるのが、レビューに関する契約であろう。OUVSでは認定した課程の質の維持のために、書類調査と訪問調査から成るレビューの手続きを行うことを定めている。このレビューは、主にOUVSが主体的に行うものである。しかしながら、このレビューの、少なくとも書類調査において最も重要な部分とされているのは、OUVSのイニシアチブではなく、認定を受けた機関それぞれの側が行う自己評価 *institutional self-evaluation* である。この自己評価の書類は、レビューのためだけに特に用意される唯一の資料であり、その作成は認定を受けた機関のまったき自主性に任されている。このことを象徴してOUVSでは「機関の自己評価書の形式や内容について言及することはOUVSの本意ではない」<sup>11</sup>としている。もっとも、認定された機関にとって、自己評価書を作成するうえでのある程度の目安が必要なことは充分推察できることであり、実際にOUVSも、15-20ページで、課程の趣旨と本文の内容を実証するような資料を付録としてつけること、機関がすでに集めた統計数値をできるだけ載せること、資料は表やグラフにすることが望ましいことといった作成のガイドラインを提示している。提出された資料は、課程の効果、資源の確実性、前述した契約内容に関する権限委譲の可能性、学習者への寄与などの視点からOUVSによって分析される。

一方、訪問調査においては、調査団は学生や教職員と面接して、運営組織と機関の問題点について討議することとされている。訪問調査団は訪問後1ヶ月以内にOUVSに対して報告書を提出するが、この報告書が確定されるのに先がけて、OUVSは機関の代表者を招いてレポートの内容について意見を聞くことが規定されている。

#### 4. おわりに

以上、オープン・ユニバーシティの単位移籍制度と評定サービスという、学外での学習を認定して資格を与える制度について概説してきた。これらのことから、主に大学評価・学位授与機構の制度改革に繋がるようないくつかのインプリケーションが得られると考えられる。

その一つは、職業資格と学問資格の架橋の問題である。イギリスは厳密な資格社会といわれ、高等教育資格についても職業資格についてもその多様性は整理の困難を極める。じっさいに高等教育資格の多様性については1996年のデアリング報告でも整理が勧告されている。ひるがえってわが国の現状をみれば、専門職学位の創設が行政主導で行われたほか、各大学での職業資格の単位認定も推進されている。とりわけ後者を適切に運用するに当たっては、イギリスのケースから学びうる点はあると考えられる。また、大学評価・学位授与機構の学位授与事業においても、大学による資格の単位認定を経由せず直接の単位認定が可能になるような制度の見直しをはかる必要が見出された際には、参照すべきケースであるといえる。

また、単位移籍制度に関して、オープン・ユニバーシティでの資格取得のために移籍できる学習に年数の制限があることは先に述べたとおりである。現在その種の制度を持たない機構の学位授与事業の運営の改善に際して、このオープン・ユニバーシティの制度は、他の単位移籍制度の多くが年数制限を設けていることとも相俟って、参考にされるべき事例であると考えられる。

さらに、OUVSによる評定サービスにおいて注目すべきは、課程の認定に際して自己評価書を重視するという態度を表明していることと、最初の認定から年月の経った機関に対しては認定に関する権限のいくつかをOUVSから各機関に委譲するという選択肢が用意されていることである。これらの、認定に関わる方針は、機構の学位授与事業において短期大学および高等専門学校に専攻科を認定すること、あるいは大学以外で高等教育レベルの教育を行っている機関の課程を認定することに関して、制度を改革する際に指針のひとつとなりうるだけでなく、本格実施を目前にした機構の大学評価事業に対しても一定のインプリケーションを与えうるといえよう。また、本稿では紙幅を割いて詳述することはしなかったが、OUVSによる単位換算のサービスは、課程全体としてはオープン・ユニバーシティが資格を与えるに足る学習機会を用意できない機関でも、資格に繋がる単位を認められるような科目ごとに、小さいユニットでの認定がおこなわれるというものである。このような、教育のプロセスを評価して単位だけを認定するという制度は機構にはない。しかしたとえば、現在学位授与事業において推進されている専攻科の認定は、課程全体を大学に相当する教育を行う機関として認定した上で、そこに配置されている個別の科目で得られた単位を大学の単位と同等のものとして認めているが、このオープン・ユニバーシティの単位換算サービスの発想にもとづけば、科目ごとにその水準を評価して、単位を認定するということが不可能ではないと思われる。このように考えると、平成3年に当時の大学審議会が勧告した単位累積加算制度の実現に向けた検討事項のひとつとして、大学を介しない機構による直接の単位の認定を取り上げる必要性も充分考えられる。このことは、先に述べた資格の単位認定とともに、高等教育の機会の拡大をはかる上で今後の学位授与事業における課題のひとつとなるかも知れない。

すでに述べたように、オープン・ユニバーシティは単体の機関としてはイギリスでも最大規模の大学である。機構が創立時に範を採ったCNAАが解散した後の単位累積加算制度を引き受けたといっても、その背景には約4,000人の常勤のスタッフがいる。機構の学位授与事業とは規模の点において大きな差があるが、学外での学習の累積により学問資格を授与するという制度の趣旨は共通しており、とりわけ単位移籍制度と評定サービスは細かい実務のレベルにおいても、先行のケースとして注目するに値すると考える。

<注>

- <sup>1</sup> The Open University, *Facts and Figures 1999/2000*, leaflet.
- <sup>2</sup> The Open University, *Credit Transfer for BA and BSc Degrees : Eligibility Notes for Students claiming Credit Transfer From August 2002*, August 2002, p1.より作成。
- <sup>3</sup> The Open University, *Credit Transfer toward BEng Degree: Eligibility Notes for Students*, October 2002, p1.
- <sup>4</sup> この試みはかならずしも全面的な支持を受けているわけではない。この問題の歴史的背景については、たとえばパーキン『イギリス高等教育と専門職社会』、有本章／安原義仁編訳、玉川大学出版部、1998年、3章「変貌する大学の社会的機能」、pp.51-75に述べられている。また、批判的言説としてはEdwards, T. et. al. *Separate but Equal?: A Levels and GNVQ*, Routledge, 1997.を参照。
- <sup>5</sup> CNAАによる単位累積加算制度に関しては、池マリ「英国における単位累積互換制度の歴史的展開」、『学位研究』第5号、pp.75-129に詳しい。
- <sup>6</sup> The Open University Validation Service, *Handbook for Validated Awards: Second Edition*, 1997, p.13.
- <sup>7</sup> The Open University, *Validation by the Open University*, leaflet, SUP 260190.
- <sup>8</sup> The Open University Validation Service, op. cit., p.57
- <sup>9</sup> ibid, pp 16-18
- <sup>10</sup> ibid, p24
- <sup>11</sup> ibid, p26

本稿は、「ITを利用した高等教育の単位累積制度と単位認定に関する研究」（平成13～15年度科学研究費補助金 基盤研究（B）（2） 研究代表者 小野嘉夫）による研究の成果である。

[資料]



## Credit Transfer Claim Form

Please fill in all sections of the form. If you have any difficulties filling in the form please contact the Credit Transfer Centre; contact details are given at the end of this form.

<b>Title:</b>	<input type="text"/>	<b>First Name:</b>	<input type="text"/>	<b>Surname:</b>	<input type="text"/>
<b>Your address:</b>	<input type="text"/>				
	<input type="text"/>				
	<input type="text"/>	<b>Post code:</b>	<input type="text"/>		
<b>Date of birth:</b> dd/mm/yyyy	<input type="text"/>	<b>PI (personal identification number): *</b>	<input type="text"/>		
* Help us to help you, please ensure you have included your PI number. If you do not have a PI number, please contact your Regional Centre, or the Course Information and Advice Centre, who will allocate you one.					
<b>The OU qualification which you wish to claim credit towards:</b>	<input type="text"/>				
If you are unsure as to this please refer to the section on our website 'How to Apply'					

### Details of your previous study

If you wish to claim for more than one period of study please give details of each separately.  
The form continues on the next page, and you may use a separate sheet if needed.

	<i>To be completed by claimant</i>	
<b>Institution:</b> (Write the full name of the educational or professional institution with which you studied)	<input type="text"/>	
<b>Dates of study:</b>	<i>Start dd/mm/yyyy</i>	<i>Finish dd/mm/yyyy</i>
<b>Mode of study:</b> (Please delete as appropriate)	<b>Full-time / part-time / sandwich course / distance learning</b>	
<b>Qualification title:</b> (Please give the full title of the course/qualification you studied. For professional institutions give the grade of membership achieved together with the route by which you qualified)	<input type="text"/>	
<b>Awarding body:</b> (If this is different from the institution at which you studied)	<input type="text"/>	
<b>Any exempted study?</b> (Please give details of any subject/period of study from which you were excused. This could be in regard to previous qualifications or experience)	<b>Yes / No</b>	<i>If yes please list subjects</i>
<b>Study completed?</b> (If no, please indicate the proportion of the qualification for which you successfully completed the assessment)	<b>Yes / No</b>	<i>If no please indicate proportion</i>

<b>Institution:</b> (Write the full name of the educational or professional institution with which you studied)		
<b>Dates of study:</b>	<i>Start dd/mm/yyyy</i>	<i>Finish dd/mm/yyyy</i>
<b>Mode of study:</b> (Please delete as appropriate)	<b>Full-time / part-time / sandwich course / distance learning</b>	
<b>Qualification title:</b> (Please give the full title of the course/qualification you studied. For professional institutions give the grade of membership achieved together with the route by which you qualified)		
<b>Awarding body:</b> (If this is different from the institution which you studied)		
<b>Any exempted study?</b> (Please give details of any subject/period of study from which you were excused. This could be in regard to previous qualifications or experience)	<b>Yes / No</b>	<i>If yes please list subjects</i>
<b>Study completed?</b> (If no, please indicate the proportion of the qualification for which you successfully completed the assessment)	<b>Yes / No</b>	<i>If no please indicate proportion</i>

<b>Institution:</b> (Write the full name of the educational or professional institution with which you studied)		
<b>Dates of study:</b>	<i>Start dd/mm/yyyy</i>	<i>Finish dd/mm/yyyy</i>
<b>Mode of study:</b> (Please delete as appropriate)	<b>Full-time / part-time / sandwich course / distance learning</b>	
<b>Qualification title:</b> (Please give the full title of the course/qualification you studied. For professional institutions give the grade of membership achieved together with the route by which you qualified)		
<b>Awarding body:</b> (If this is different from the institution which you studied)		
<b>Any exempted study?</b> (Please give details of any subject/period of study from which you were excused. This could be in regard to previous qualifications or experience)	<b>Yes / No</b>	<i>If yes please list subjects</i>
<b>Study completed?</b> (If no, please indicate the proportion of the qualification for which you successfully completed the assessment)	<b>Yes / No</b>	<i>If no please indicate proportion</i>

<p><b>Please ensure that you have:</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• read and understood the eligibility notes provided on the website</li> <li>• enclosed all the necessary documentary evidence</li> </ul> <p>I have read and understood the notes on credit transfer and have included ___ documents (<i>not</i> counting this form). I give you my permission to make any enquiries you need with the institutions listed above (and any associated institutions) if it will help you to assess my claim for credit transfer.</p> <p>Your signature _____ Date _____</p>
---

The Credit Transfer Centre, The Open University, PO Box 80, Milton Keynes, MK7 6AS  
Tel: 01908 653077 E-mail: credit-transfer@open.ac.uk

オープン・ユニバーシティの許可を得て掲載  
Copyright © 2003 The Open University

[ABSTRACT]

## The Credit Transfer System and the Validation Service at the Open University

MORI Rie\*

This article explicates the functions of the credit accumulation and the evaluation of learning experiences executed at the Open University of the United Kingdom. The Open University (the OU, hereafter) keeps five kinds of strategies as its nature, *i.e.*, 1) Open to People, 2) Open to place, 3) Open to method, 4) Open to ideas and 5) Open to time. As it is seen in those strategies, the OU, which keeps the policy of open admission, defines itself not only as an institution of distance learning but also a provider of widened opportunity or access for higher education.

Given the mission above, the OU has functions to accelerate higher learning which allows learners to earn degrees and/or diplomas. In this article it is mainly shown the architect of two kinds of programmes of the OU. One of them is the Credit Transfer System and the other is Open University Validation Services: OUVS. These two programmes have a characteristic in common, what is “external.” The Credit Transfer System allows learners with prior study experiences at a higher level of learning to have reduced the number of credits they must earn with OU in order to have awarded degrees and other certificates/diplomas. OUVS is a service designed to allow people with various degrees and certificates to earn those of the OU’s. The OU has this function as the successor of former CNAA that was abolished in 1993, in order to keep it possible to earn academic credentials through credit accumulation and transfer.

Needless to say, those kinds of recognitions of study which occurred outside the OU naturally require the process of assessment of those external courses and/or learning of higher level in order to decide whether students may reduce the number of credits which they should earn with the OU or not. Thus, it can be said that the experience of the OU may suggest idea to NIAD-UE which now is responsible for two kinds of tasks; the evaluation of external learning and the quality assurance of higher education.

---

\* Associate Professor, Faculty for the Assessment and Research of Degrees, National Institution for Academic Degrees and University Evaluation